

# 講演会～(株)百姓堂本舗 高橋哲史氏～

県内で活躍している方の話を聞き、居住地域や社会に目を向け、地域課題について深く考えました。



【講演を聴いて、感じたことや気づいたこと、疑問に思ったこと、今後の生活にどのように活かしていけるかを振り返った。】

- 自分達の身近なりんごのことを通して、これからどうりんごを未来に継いでいくのかや自分達に出来ることがわかった。青森県だけで盛んにしようせず、全国的に、世界的に広めることが大切だと思った。そのために、自分が今、高校生の代表として若者でも関わりやすいりんご農家の環境づくりを考えていく必要がある。
- 私はまだ明確な将来は決まっていないが、今の私達にできることは新しいことに挑戦する。ということなのでもっと広い視野から進路を考えようと思う。そしてりんご農家の継承者が少なくなっている中で、ニュージーランドと行き来してりんごを育てるという効率の良さがすごく良い考えだと思った。
- これからは、今までよりも視野を広げて、自分がしなければいけない、すべきことを見つけながら生きていきたい。質疑の際に昔は女の人よりも男の人のほうが農家になりやすいイメージがあるが今は変わってきているのかと聞き、応答で女性が木に赤い実がついているのが可愛いという理由などでやっている方もいる聞き、驚くのと同時になら私もやってみたいという気持ちになった。
- 身近なことに自分の人生を変える出来事が潜んでいるとおっしゃってくれたので、周りを今度からよく見て行動していきたい。先入観からものを決めつけてしまう癖があるので、その癖を直し何事にも積極的に取り組んでいきたい。
- 自分が今やっていることだけに目を向けるのではなく、もっと遠い目で見ても考えることも大事なんだなあと考えた。何をすればいいのか考えることも解決につながるとわかった。自分達の若い世代だからこそできることもあると思うので、りんごの問題だけではなく日本の問題も自分の問題として深く考えていきたい。